

## 新型コロナウイルスワクチン接種後発熱症状が出現された患者さんへ

新型コロナウイルスワクチン接種後に発熱がみられることがありますが、ワクチン接種後に発熱がみられた場合でも、発熱が新型コロナウイルスによる感染症状である可能性は否定できません。

このため当院では、新型コロナウイルスワクチン接種の有無にかかわらず、来院前 1 週間以内に 37.5℃以上の発熱症状がみられた患者さんに対しては、初診・再診を問わず特別外来で診察いたします。

新型コロナウイルスワクチン接種後に外来受診、検査あるいは入院予定がある患者さんも、来院前 1 週間以内に 37.5℃以上の発熱がありますと通常の診療は行えず、特別外来での診察となるか、通常外来受診予約や検査・入院予定を変更していただかなければならない可能性があります。

新型コロナウイルスワクチン接種後に発熱がみられた場合は、受診前にお電話等であらかじめ主治医とご相談いただきますようお願い致します。